

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	係長	主査	主査	文書取扱主任								

## 第 26 回 厚生常任委員会 会議録

開催年月日	平成30年5月11日(金曜日)	開会13時29分	閉会14時37分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	堀、木下、館内、田村、水口、山口	事務局	竹谷事務局長
			菊田次長
欠席委員			村井係長
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	○休憩中、4月1日付け人事異動に伴う職員紹介を行った。		
	1	所管からの報告事項について	
		次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。	
	(1)	平成29年度決算見込みについて	
	(2)	平成30年度診療報酬改定の影響について	
	(3)	滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について	
	(4)	介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	
	(5)	平成30年度一般会計補正予算について	
	(6)	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算について	
	(7)	滝川市税条例等の一部を改正する条例について	
	(8)	平成30年度一般会計補正予算について(さいわい湯施設修繕)	
	(9)	江部乙地区コミュニティセンターの農村環境改善センターへの集約について	
	2	その他について	
	なし。		
3	次回委員会の日程について		
	5月29日(火)午前10時00分 第一委員会室		
上記記載のとおり相違ない。 厚生常任委員長 堀 重雄 ㊞			

平成30年5月2日

滝川市議会議長 水口典一様

滝川市長 前田康吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

平成30年4月5日付け滝議第10号にて通知のありました第26回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長	舘 敏 弘
市民生活部次長	浦 川 学 央
市民生活部くらし支援課長	小 畑 力 也
市民生活部くらし支援課長補佐	吉 住 晴 美
市民生活部くらし支援課長補佐	澤 田 忠 信
市民生活部くらし支援課係長	佐 藤 彰 真
市民生活部くらし支援課係長	大 橋 晃 久
市民生活部市民課長	前 田 昌 敏
市民生活部市民課長補佐	岩 本 美 鈴
市民生活部市民課係長	西 郷 知 拓
市民生活部保険医療課長	原 田 暢 裕
市民生活部保険医療課長補佐	林 仁 彦
市民生活部保険医療課係長	大 崎 直 樹
市民生活部保険医療課主査	竹 山 幸 江
市民生活部保険医療課主任主事	栗 木 康 隆
保健福祉部長	国 嶋 隆 雄
保健福祉部子育て応援課長	柳 圭 史
保健福祉部子育て応援課主査	関 山 佳 世
保健福祉部介護福祉課長	黒 川 靖 子
保健福祉部介護福祉課長補佐	土 橋 祐 二
保健福祉部介護福祉課主査	橋 本 洋 衣
市立病院事務部長	椿 真 人
市立病院事務部事務課長	堀 勝 一
市立病院事務部事務課長補佐	佐 藤 智 人
市立病院事務部事務課経営管理係長	畑 原 秀 樹

市立病院事務部事務課経営管理係主査  
市立病院事務部医事課長  
市立病院事務部医事課長補佐

高 林 宏 光  
青 山 和 美  
矢 野 健 介

(総務部総務課法制文書係)

## 第26回 厚生常任委員会

日 時 平成30年5月11日(金)  
午後1時30分～  
場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

○ 休憩～4月1日付け人事異動に伴う職員紹介

### 1 所管からの報告事項について(◎印は議案関連)

《市立病院》

- (1) 平成29年度決算見込みについて (資料) 事務課  
(2) 平成30年度診療報酬改定の影響について (資料) 医事課

《保健福祉部》

- ◎(3) 滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について (資料) 子育て応援課  
◎(4) 介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について (資料) 介護福祉課

《市民生活部》

- ◎(5) 平成30年度一般会計補正予算について (資料) 市民課  
◎(6) 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算について (資料) 保険医療課  
◎(7) 滝川市税条例等の一部を改正する条例について (資料) 保険医療課  
◎(8) 平成30年度一般会計補正予算について(さいわい湯施設修繕) (資料) 暮らし支援課  
(9) 江部乙地区コミュニティセンターの農村環境改善センターへの集約について (資料) 暮らし支援課

### 2 その他について

### 3 次回委員会の日程について

5月29日(火)午前10時00分～ 第一委員会室

○ 閉 会

## 第26回 厚生常任委員会

H30.5.11 (金)13:30～

第一委員会室

開 会 13:29

委員長 それでは、第26回厚生常任委員会を開会します。

### 委員動静報告

委員長 委員動静ですが、全員出席。傍聴には清水議員、安樂議員、東元議員が出席です。

ここで4月1日付人事異動に伴う職員紹介のため、暫時休憩します。

休 憩 13:30

再 開 13:34

委員長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

### 1 所管からの報告事項について

委員長 保健福祉部の(3)、(4)、市民生活部の(5)から(8)は議案関連でございますので、ご留意をお願いいたします。

それでは、市立病院、(1)、平成29年度決算見込みについての説明を求めます。

#### (1) 平成29年度決算見込みについて

堀 課 長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

田 村 縦のペーパーの囲んである言葉の中なのだけでも、28年度決算と比較して2億円以上ふえる見込みと。ふえる見込みの根拠は何なのですか。

堀 課 長 要因といたしましては、先ほど説明したとおり入院患者数も単価もふえておりまして、外来患者数は減っておりますが、単価はふえている。こういうような状況から、今までの実績、現段階での29年度の4月から3月までの実績を踏まえての数値でございます。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

続きまして、(2)、平成30年度診療報酬改定の影響についての説明を求めます。

#### (2) 平成30年度診療報酬改定の影響について

矢野課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

山 口 最後の今後の対応の②の新たな施設基準の取得とありますけれども、これは具体的に言うとどういうものを想定しているのですか。

矢野課長補佐 まずは、平成30年度で改定された項目の中で、3月の時点では市の算定できるものは院内でいろいろ協議をしまして算定はしているのですけれども、なかなかまだ施設基準を満たす体制にならないものというのが幾つかあります。例えば医療安全の関係で、感染の抗菌薬体制加算というのがございますが、それに向けては今算定の準備を進めて、近々算定を開始するというような予定で進めているものもございますし、そのほかにも入院時にいろんな部分の患者さんに対するサービスというものを評価された加算もございますので、その部分に

委員長  
舘 内

についても算定できるような形で今検討しているところでございます。  
ほかに質疑ございますか。

堀 課 長

3番の今後の対応の③で、看護職員の増員を図るとともに離職率の低下に努めるということですが、今考えられるべき増員の方法とか、また離職を減らすという取り組みをされていると思うのですが、どのような形で取り組まれているのかお聞かせください。

委員長  
副委員長

看護職員、看護師、准看護師、看護助手、それからクラークとありますけれども、昨年も一年間通してずっと採用募集をしておりますが、現在も採用募集をしています。そして、臨時職員、嘱託職員につきましては今年度からわざわざはありますけれども、賃金の改善をしております。処遇の改善を見直すことによって募集、採用をふやしていきたいと考えております。昨年1年間見ましてもなかなか中途での正規看護師の応募というのが少ない状況でありますので、何とか看護助手の採用をふやして看護師の負担軽減につながるようにしていきたいと考えております。先ほどわざわざはありますけれども、賃金単価の見直しも行ったと申し上げましたが、それとあわせて日勤帯であれば働けるという方もいらっしゃるので、看護助手についてもそういった時間帯で働けるように創意工夫、働きやすい、応募しやすいように考えております。

堀 課 長

ほかに質疑ございますか。

今増員を図るということはわかったのですが、離職率の低下に努めるということで、離職率とはいろんな要素があると思うのですが、何が一番多いのでしょうか。例えば環境が悪いのか、それともいろんなことが考えられますけれども、市立病院としては離職率が多いというか、低下に努めるということになってはいますけれども、何が離職率につながっているのかということをお聞きします。

副委員長

昨年度の看護師の退職人数が30名ということで、近年の中では本当に多い数字になってしまいました。大まかな退職理由別ということも把握をしております。一番多いのは転職で14名となっております。さらなる細かな分析には至っておりませんが、やはり聞く中身では札幌のほうに勤めたいという声結構多いのかなと考えております。そのほかに結婚ということで4名の方、あと家庭の事情というようなことで6名の方、介護ということで3名の方、主な理由としてはそのような状況になっております。

堀 課 長

離職率というものはこだわっているのですが、問題点においては環境が悪いとか、勤めづらいとか、そういう声は看護師さんのほうから聞かないですか。

一番最初に入院数がふえているというお話もしました。この1年間で1日平均10人、延べにすると掛ける日数ですからすごく患者数がふえております。一方、看護師の数というのは当然7対1の基準を上回る配置をしていますけれども、昨年度と比べてふえているわけではない。そういった中で、看護師の業務の負担が以前から見るとふえているということは現実でありまして、やはり日勤帯の方が帰る時間が遅くなるというような声も私どものところにも届いております。そういった中で、先ほど申し上げたとおりできればやっぱり正職看護師をふやして軽減をしていきたいというふうにはまず考えているのですが、なかなか中途採用の応募が少ない。去年もたしか四、五人だったと思いますが、そのような状況の中では、説明は重複してしまいますが、資格がなくてもできる

看護助手ですとか、処遇を見直したり、働きやすい時間帯を設定をしたり、そういった方がふえると、看護師さんにはやっぱり看護師さんでないとできない仕事、そこにできるだけ集中していただいて、それ以外のことは助手さんですとか、クランクさんですとか、そちらのほうにシフトしていく中で業務の軽減を図っていきたいと考えております。また、今年度から薬剤師を3名ふやしておりますので、病棟に勤める薬剤師の数もふえていきます。そういった中では、看護師から薬剤師にシフトができる業務でありますとか、ベッドも褥瘡防止のために、今まで看護師が定期的に体位を変えていくということをしているのですけれども、今回から自動で体位を変えることができるベッド、これを25台導入をすることにしておりますので、そういったことでも看護師の負担軽減に努めていきたいと考えております。

副委員長

もう一度聞きますけれども、離職率の低下に努めたいという1位は何でしょうか。一番離職の歯どめがかかる対策はどのように考えていますか。

堀 課 長

看護師の負担軽減というのが一番でありますから、ちょっと答えは重複してしまうのですけれども、人間的なものが大きいのかなと思いますし、今看護師の業務もやはりこれだけきつくなっているということがありまして、例えばほかの病院であればどうなのだろうと。そういった視点もちょっと見ながら、看護はやり過ぎということは決してないと思うのです。患者さんのためにやり過ぎるということは決してないと思うのですけれども、ほかの病院と比べてうちの看護の量といいますか、そういったこともちょっと比較をできるものであれば比較もしたいと考えております。看護師の負担軽減がやっぱり一番だと考えております。

副委員長

ことし高看で25人卒業しましたよね。何人残って勤めましたか。

堀 課 長

高看で卒業したのが25人で、ことしでいうと滝川市立高等看護学院から15人を採用して、全体では18人のところを15人が高等看護学院。昨年15人、大体例年15から17人というところなのですけれども、昨年入ってすぐ1年以内でやめられたという看護師はいらっしゃいません。

委 員 長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、報告済みといたします。

それでは、(3)、滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例についての説明を求めます。

### **(3) 滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について**

柳 課 長

(別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、報告済みといたします。

続きまして、(4)、介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例についての説明を求めます。

### **(4) 介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について**

土橋課長補佐

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わりました。  
質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。  
それでは、(5)、平成30年度一般会計補正予算についての説明を求めます。  
**(5) 平成30年度一般会計補正予算について**  
(別紙資料に基づき説明する。)

西郷係長 説明が終わりました。  
委員 長 質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。  
(6)、平成30年度国民健康保険特別会計補正予算についての説明を求めます。  
**(6) 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算について**  
(別紙資料に基づき説明する。)

大崎係長 説明が終わりました。  
委員 長 質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。  
続きまして、滝川市税条例等の一部を改正する条例についての説明を求めます。  
**(7) 滝川市税条例等の一部を改正する条例について**  
(別紙資料に基づき説明する。)

林課長補佐 説明が終わりました。  
委員 長 質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。  
それでは、(8)、平成30年度一般会計補正予算について(さいわい湯施設修繕)の説明を求めます。  
**(8) 平成30年度一般会計補正予算について(さいわい湯施設修繕)**  
(別紙資料に基づき説明する。)

大橋係長 説明が終わりました。  
委員 長 質疑ございますか。

田 村 さいわい湯けれども、今後何年ぐらい利用予定なのか伺います。  
大橋係長 さいわい湯につきましては、現在開西団地のほうにお風呂がありませんので、そのために設置したものでございます。開西団地の改築の計画は、平成37年度で完了する予定でございますので、少なくともそこまでは利用する予定となっております。

委員 長 ほかに質疑ございますか。  
副委員長 1つだけ聞きますけれども、どのぐらい利用者がいるのですか。  
大橋係長 さいわい湯につきましては、週3回、火、木、土に営業しておりますが、1日の平均利用客は約30名となっております。

委員 長 ほかに質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。  
それでは、(9)、江部乙地区コミュニティセンターの農村環境改善センターへ

の集約についての説明を求めます。

(9) 江部乙地区コミュニティセンターの農村環境改善センターへの集約について

小畑課長  
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

田 村

改善センターを改修していくのに3年計画ぐらいなのですが、どれぐらいの予算を見ているのか、起債も含めて。それと、コミセンというのは実は江部乙の中で余り使われていないというのが非常に強くて、僕たちも月に1回か2回ぐらい行くのだけれども、夜になったら怖いぐらい。それで、それは広過ぎてしんとし過ぎていてということもあるので、ぜひ改善センターのほうは場所もいいし、そちらのほうにコミセンの機能をしっかりと移転して拡充していくべきだと思うのですが、改善センターの資金的な面で総額どれぐらいを見込んでいるのですか。

小畑課長

必要な改修事業などをした場合にどのぐらいになるかということは、実は率直なところは今のところこれぐらいの予算規模でいこうとか、上限はこれぐらいでないとか、そういったところは定めておりませんので、まずは必要な機能、この地域のこのセンターにどういう機能が必要なのだということをしっかり皆さんに議論をしていただいた上で、それに必要な改修工事等をしていきたいなと思っております。コミセンのお話もございましたけれども、今利用されている方々がきちんと利用できるような形に整えた上で、予算のほうは見積もっていききたいと思っております。

田 村

これは、改修というのは僕らもいろんな建物をやっているけれども、非常に難しい。そして、この団体の人たちがそれぞれに使いやすいように意見集約をすると、上は切りがないと思う。だから、ある程度の目安を立てていかないと、天井になってしまうと思う。だから、その辺はせめてこれぐらいまでという、今でなくてもいいから、これを進めるうちにしっかり金銭的なものを集約をして、最初から赤字になるようなことにならないように、これは改善センターを改修した場合には市直営でやるのか、指定管理者でやるのか。

小畑課長

確かに工事費のほうは、おっしゃるとおり青天井になるということにはなりませんので、その辺はしっかり見定めながら進めていきたいと考えております。それと、でき上がった後の運営はどうするのだというお話ですけども、今のところはまだ直営なのか、指定管理なのかとか、決めたものは方針としてございませんけれども、指定管理ということも頭に入れながら進めていきたいと。そのための準備もできればしていきたいと考えております。

委員長  
館 内

ほかに質疑ございますか。

改善センターが築40年経過しているというところで、当時のごく普通の建物だったと思うのですが、今はバリアフリーだったりとか、あとは全ての世代に優しいつくりの建物にしておく必要もあるのかなというふうには漠然とは思っているのですが、この中に児童館機能が入るということで、フロアの広さ的には今の広さは問題はないのでしょうか。

小畑課長

40年前の建物になりますので、かなりその時代の建物だったのだなというつくりになっております。そうした部分でバリアフリー的な改修等、利用の形態に応じまして必要な部分についてはやっていかなければいけないのだろうと思

います。

それから、児童館は今使っている部屋は決してそんなに大きな部屋でございませので、改善センターでも十分対応できる広さでございます。

委員 長  
副委員 長

ほかに質疑ございますか。

改善センターの中にも江南団地に風呂がないものですから、風呂も備えているのですよね。その風呂の状況下というのか、現状維持にするとか、先ほど田村委員が言ったようにある程度の金額を示さなければこのメンバーの人たちも何でも、これもしてほしいと、こうやって言ったって、やっぱり市側がある程度予算額は2億円なら2億円ということを書いてあげなかったら、私はちょっと厳しいような気がしますけれども、その辺は何月ごろまでにある程度の金額を皆さんに示していただけるのか。それと、今お風呂の問題と、それと先ほど館内委員が言ったようにエレベーターの関係とか、そういうバリアフリーの関係とか、そういうものをいろいろ加味しながら、どのぐらいの時期に設計金額を示していただけるのか伺います。

小畑課長

公営住宅の方にお風呂のご利用をいただいております、延べ人数で年間900人ぐらいご利用いただいておりますので、引き続きお風呂が必要な限りは続けていく必要があると思っております。

それから、バリアフリーも含めてどのぐらいのお金をかけていくのだというところを見せて議論したほうがというお話はごもっともだと思うのですが、まず必要な機能は何なのだというところをみんなで議論いただいて、それを今度実際にお金に置きかえたときに、それでは幾らぐらいの概算になるのではないかと。それをまた戻して、このぐらいかかるのだけれどもというようにちょっと議論を行ったり来たりさせながら、実際に詰めていく形になるのかなと思うのですが、来年実施設計を考えておりますので、実施設計をするということは大體工事費を確定していきますので、実施設計の予算については来年の第1回定例会で上程させていただきたいと思っておりますので、内部的には11月ぐらいまでにはまとめなければいけないということで進めていきたいと思っております。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みといたします。

## 2 その他について

委員 長

それでは、2、その他について、委員の皆さんから何かありますか。

(なしの声あり)

事務局のほうから何かありますか。

(なしの声あり)

## 3 次回委員会の日程について

委員 長

次回委員会は、5月29日(火)午前10時、第一委員会室で開催します。以上で、第26回厚生常任委員会を閉会いたします。

閉 会 14:37